

令和元年度N I E実践報告書

鹿児島県立楠隼高等学校

1. はじめに

本校は平成 27 年 4 月に全国初の全寮制中高一貫の男子校として開校し、現在 5 年目を迎えた。平成 27 年に入学した中学 1 期生は、現在高校 2 年生であり、現在の高校 3 年生が、高校からの入学生のための最後の学年である。

全寮制であるため、全国から生徒募集をし、全校生徒のうち、およそ 4 割が県外出身者である。寮内は携帯電話・スマートフォンの持ち込みが禁止されており、日頃から新聞は生徒たちの重要な情報源となっている。

寮と各教室にはそれぞれ 2 紙（朝日新聞・南日本新聞）が配布される。そのため、寮内やクラスでは、新聞を読む生徒の姿がよく見られる。

2. 実践計画

（1）育成を目指す資質・能力

- ① 記事を作成するにあたって必要とされる情報を検証する力。
- ② 複数の資料を活用し、課題に関連する情報を編集し、表現する力。
- ③ 課題を把握し、解決に向けての方策を探究する態度。
- ④ 新聞の読み比べによる批判的思考力。

（2）年間購読計画

以下の 5 紙を 4 ヶ月購読し、新聞は高校 2 年生のフロアにストックしていった。

	10 月	11 月	12 月	1 月
朝日新聞	1	1	1	1
毎日新聞	1	1	1	1
読売新聞	1	1	1	1
日本経済新聞	1	1	1	1
南日本新聞	1	1	1	1

この 5 紙はいずれも図書館には配置しているものではあるが、より教室に近い箇所に N I E コーナーを設置したため、休み時間はこのコーナーで新聞を手にする生徒の姿がみられた。また、朝、寮では新聞を読む時間が十分になかったり、教室には 1 部ずつしかなかったりするため、N I E コーナーも利用する生徒が多かった。

教室の新聞ラック



寮の新聞閲覧コーナー



校内のN I E コーナー



3. これまでの取り組み

(1) 教科での取り組み

①「朝日 Teachers'メール」の活用

このサイトは、校種（小学校～高等学校）や教科によって、テーマごとに朝日新聞の記事をスクラップしたものを、PDFで閲覧・ダウンロードできるサービスである。

過去の記事を遡って利用することができるため、これまでも授業で活用してきた。即時性に欠けるという点があるが、單元ごとに生徒に読ませたい記事をこちらが選択することができる。記事はPDFでダウンロードできるため、授業プリントに取り入れたり、考查問題に記事文章を活用したりしている。

* 「高校」→「地歴」→「日本の都市・居住問題」の記事一覧の例

日本の都市・居住問題

見出し	日付 発行社・朝夕 ページ	選者からのコメント	おすすめ度	紙面表示 PDFダウンロード
世代を超えて使える街を 内閣府マニュアル 民間の提言反映	2019/4/17 東京 朝刊 8p	住宅やインフラを何世代にもわたって活用できる「ストック型」の街づくりの手法は、「地域防災計画」を立案したりするのにも適しているとも言えそうだ。	B	紙面ダウンロード
30年後の街、発想は模型から	2019/4/17 東京 朝刊 3p	社会と総合的な学習を関連付けて、地域社会と自分たちの生き方を学ぶ導入の資料として活用したい。	C	紙面ダウンロード
地価上昇は局地的	2017/3/22 東京 朝刊 11p	都市の中心部で上昇傾向がみられる公示地価。	A	紙面ダウンロード
老いるニュータウン ニッポンの宿題	2016/1/6 東京 朝刊 15p	オールドタウンになりつつあるかつてのニュータウンを通して、これからの街のあり方について考えることができる。	B	紙面ダウンロード

(「朝日 Teacher's メール」ウェブサイトより)

②教科「地理」での取り組み

「朝日 Teachers'メール」を授業プリントの中に活用することが多いが、PDFだと文字は見にくいので、文章を起こしたり、記事中の図を使ったりしている。その際、取り上げる資料は1つであることが多いので、「複数の資料を活用し、課題に関連する情報を編集し、表現する力」を育成するため、今後は読み比べなども取り入れていきたい。

* 授業プリントの例 (現代社会)

1年()組()番 名前() 現代社会 第30回

発展学習

以下は2016年8月14日の南日本新聞の記事である。この記事には様々な点で問題点を指摘することができる。あなたが考えつく限りの問題点を指摘しなさい。

南 日 本 新 聞

終戦記念日はいつですか？

鹿児島市で 若者50人中半数「知らない」

終戦記念日はいつか知っていますか。南日本新聞が鹿児島県内の15〜22歳の50人に尋ねたところ、8月15日と答えることができたのは半数の25人だった。広島に原爆が投下された日は8月6日と答えていたのは54% (27人)、長崎に投下された8月9日については66% (33人) という結果だった。

終戦記念日と広島・長崎への原爆投下日を全て正しく答えることができた人は46% (23人)。一つも答えられなかった人は約9% (16人) だった。

「日本が再び戦争を始めたか、戦争に加わったりする可能性があるか」という質問もした。52% (26人) が「ある」と答え、「ない」の34% (17人) を上回った。

日本が戦争を始めたり、戦争に加わったりする可能性があるかと思いませんか？

どちらともいえないから知らない 34%

必要なし 52%

法的9条を見直す必要があるかと思いませんか？

どちらともいえないから知らない 30%

必要なし 58%

「ある」と回答した人は、「北朝鮮や中国などの動向が心配」「国が集団的自衛権の行使を認めるなど、自衛隊を積極的に海外に派遣しようとしている」などを理由に挙げた。「ない」の理由は、「過剰を繰り返すことではない」「原爆被害などが語り継がれている」など。

平和主義を定めた憲法9条を見直す必要があるか、ないかについても尋ねた。「見直すべきではない」という回答は58% (29人) で、「9条があったから平和を保つことができた」が主な理由。「見直すべき」は30% (15人) で、「自衛隊の存在がいまい。現実には即し軍隊と配すべきだ」などの理由が挙げられた。

8月9日、10日に鹿児島市のJR鹿児島中央駅や天文館、鹿児島天学周辺などで対面式で回答を得た。(加藤武司、右田雄一、上山智子)

(2) 進路指導部の取り組み

高校生のフロアにある掲示板に、社会問題や生徒の進路意識を高める内容の記事を掲示している。ウォータークーラーの横にあることもあり、生徒が掲示板を見ながら意見を言い合う場面もみられる。



4. 来年度に向けて

これまででも教科において、授業内で新聞を活用してきたが、単発的であったり、各担当者の取り組みを共有できていなかったりしていた。今年度、NIE実践校となったことで、教員同士が情報を共有したり、意見交換をしたりする場面が増えた。また、これまでは1紙のみを取り上げることが多かったが、複数紙購読できる環境を生かし、批判的思考力や課題解決に向けての方策を探求する態度を育成していきたい。